

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価 結果

| 達成度（評価） | |
|---------|-------------|
| A | 十分達成できている |
| B | おおむね達成できている |
| C | やや不十分である |
| D | 不十分である |

| | |
|-----|-----------|
| 学校名 | 唐津市立佐志中学校 |
|-----|-----------|

| | |
|------------------|---|
| 1 前年度 評価結果の概要 | <p>・保護者のアンケート結果では、本校の教育活動に対して好意的な評価をいただいた。また、具体的方策を絞って取り組んだため、教職員の意識が高まり、日常の教育活動の改善に結び付きやすかったと考える。学力向上の取り組みに関しては、生徒・保護者共に85%以上が肯定的な回答を寄せており、国や県の学力状況調査においても複数の教科が県平均を上回る等の成果が現れてきている。また、地域連携に関しても学校と地域の連携を積極的に評価する回答が多かった。次年度も、地域に愛される教育の実践等を通して学校教育力の更なる向上に取り組んでいきたい。</p> <p>・次年度の学力向上に関する取り組みでは、「小中連携」を取り組みの土台として捉え、小中相互の授業公開や研究推進委員会等を通して連携を深めたい。これらの取り組みを通して、小学校と中学校それぞれの発達段階に応じた「主体的・対話的で深い学び」の実際について共通理解し、共通実践の可能性を探りたい。また、本校教育の柱の一つである人権・同和教育に関しても、小中9か年を見通した実践にするために小中連携を進めていく。</p> |
|------------------|---|

| | |
|----------|---------------------------------|
| 2 学校教育目標 | 確かな学力を身につけ、健康で心豊かで、生きる力を持つ生徒の育成 |
|----------|---------------------------------|

| | |
|------------|---|
| 3 本年度の重点目標 | <p>(1) 学力向上のために授業と家庭学習の充実を図る。</p> <p>(2) 生徒理解と仲間づくりを通して人権・同和教育を推進する。</p> <p>(3) キャリア教育を推進し進路意識を向上させる。</p> |
|------------|---|

| | | |
|---------------|------|--------|
| 4 重点取組内容・成果指標 | 中間評価 | 5 最終評価 |
|---------------|------|--------|

| (1) 共通評価項目 | | | | 中間評価 | | 最終評価 | |
|--------------------|--|--|--|-------------|--|---|---|
| 評価項目 | 重点取組 取組内容 | 成果指標 (数値目標) | 具体的取組 | 進捗度 (評価) | 進捗状況と見通し | 達成度 (評価) | 実施結果 |
| | | | | ●学力の向上 | <p>●全職員による共通理解と共通実践</p> <p>○意欲的に学習に臨む生徒の育成を図る</p> <p>○家庭学習の習慣化</p> | <p>●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上</p> <p>○授業に一生懸命に取り組んでいる生徒を85%以上にする</p> <p>○毎日家庭学習に取り組む生徒を80%以上にする</p> | <p>・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。</p> <p>・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」を踏まえ、全教科半分以上の授業で「話し合う活動」を設定する。</p> <p>・「振り返り」の時間をきちんととる。</p> <p>・教材研究として授業と関連した課題の作成に取り組む。</p> |
| ●心の教育 | <p>●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動</p> <p>●いじめの早期発見、早期対応体制の充実</p> <p>◎キャリア教育の推進を図る。</p> | <p>○道徳性についてのアンケートで肯定的な回答をした生徒と保護者の割合をそれぞれ80%以上にする。</p> <p>○いじめアンケートで、学校の取組に肯定的な回答をした生徒・保護者の割合をそれぞれ80%以上にする。</p> <p>○将来の夢や希望する職業を持つ生徒を70%以上にする。</p> | <p>・平和教育や安全教育に関する授業や掲示に取り組む。</p> <p>・毎月生活アンケートをとる。</p> <p>・生徒指導部会(週1回)と生徒理解協議会(月1回)を通して、学年を越えた情報交換を行う。</p> <p>・職業や高校・大学について機会を捉えて紹介する。</p> | A | ・道徳性については、生徒・保護者ともに80%が肯定的な回答を行った。 | A | ・生徒の回答は89%と非常に肯定的な評価であった。保護者の回答は81.6%と少し落ちたが目標は達成できた。 |
| ●健康・体づくり | <p>◎「望ましい生活習慣の形成」</p> <p>○朝食の喫食率向上を図る。</p> | <p>○睡眠時間7時間以上、スマホ等の使用時間2時間以内の生徒を90%以上にする。</p> <p>○朝食の喫食率を95%以上にする。</p> | <p>・規則正しい生活やスマホ依存について通信等で啓発を行う。</p> <p>・スマホの使い方について講師を招いて講演会を行う。</p> <p>・朝食の効果について啓発を行う。</p> | B | ・規則正しい生活やスマホの使い方については、教員が危機意識をもって随時指導を行った。 | B | ・睡眠時間の確保はできたが、スマホ等の使用時間2時間以内の生徒は40%しかいなかった。 |
| ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | <p>●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減</p> | <p>●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。</p> | <p>・部活動休養日の設定を徹底する。</p> <p>・部活動休養日を定時退勤日とする。</p> | A | ・「必ず朝食を食べている」生徒は82%であった。家庭の問題ではあるが啓発を続ける必要がある。 | B | ・「将来になりたい仕事や夢がある」生徒が65.2%と低かった。しかし、学年が上がることにより約10%ずつ増えており、意識が高くなっていると思われる。 |
| ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | | | <p>・部活動指導については指針を遵守できている。</p> <p>・ほとんどの職員が部活動終了後1時間までに帰宅することができている。</p> | A | ・使用時間がなかなか減る様子がないので、今後も啓発を続けていく。 | A | ・「必ず朝食を食べている」生徒は89.7%で、若干の向上が見られた。これからも啓発を続ける必要がある。 |

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

| | |
|--------------------|--|
| 5 総合評価・ 次年度への展望 | <p>・職員の共通理解を図ることができ、職員に関する取り組みは概ね良好であった。授業改善については、R3年度は研究発表も控えており、さらなる向上のために、今後も継続して取り組む必要がある。</p> <p>・生徒に関する課題(家庭学習、スマホの使用時間など)については目に見える改善ができなかった。この問題に関しては、学校と家庭の連携、生徒の意識向上が必要であり、地道な啓発活動が不可欠である。今後も取組を継続する必要がある。</p> <p>・今年度は、「佐志中学校に通って(通わせて)よかった」に対して、生徒は83.1%、保護者は80.8%となった。来年度は90%を越えるようにしていきたい。</p> |
|--------------------|--|